

REPUBLIC THUNDERBOLT P-47D BOLT

Hasegawa
ハセガワ

1/72スケールシリーズ

リブリック P-47Dサンダーボルト <水滴風防型>



<リブリック P-47D-25 サンダーボルト 戦闘機>

P-47は第2次世界大戦におけるアメリカ陸軍航空隊の代表的な空冷式星型エンジン付きの戦闘機で、原型のXP-47Bは1941年5月6日に初飛行し、終戦直後まで改造型の生産が続けられ、各型合計15,660機がつけられました。

おもにつくられたのは、P-47B、C、D、G、M、Nの各型で、なかでもD型が圧倒的に多く12,602機にのぼり、太平洋と欧州の両戦線で、戦闘爆撃機として大活躍をしました。

P-47は、その当時としては革新的なターボ過給機を胴体の下部に内蔵し、その空気取入口がエンジンの下に開いているため、胴体の下側が膨れた橋断面型になっています。この装置のおかげで、高空でも強い馬力を出すことができ、最大時速は高度9,150mで約700kmを發揮し、ドイツの秘密兵器V-1ジェット飛行爆弾を追撃してその実力が証明されました。また、主翼の下に500~1,000ポンド(227~454kg)爆弾×2をつけて、急降

下爆撃にも活躍しました。

P-47D-25は、水滴型(バブル・タイプ)のキャノピーをとりつけ、後部胴体の背が低く整形されたP-47D後期型に属し、そのほとんどが全面無塗装です。しかし、イギリス空軍のサンダーボルトMk. IIとソビエト空軍で使われたものは、それぞれの迷彩塗装をしていました。戦後もフランス、ソビエトなど19ヶ国の空軍で使われ続けました。

<主要データ>

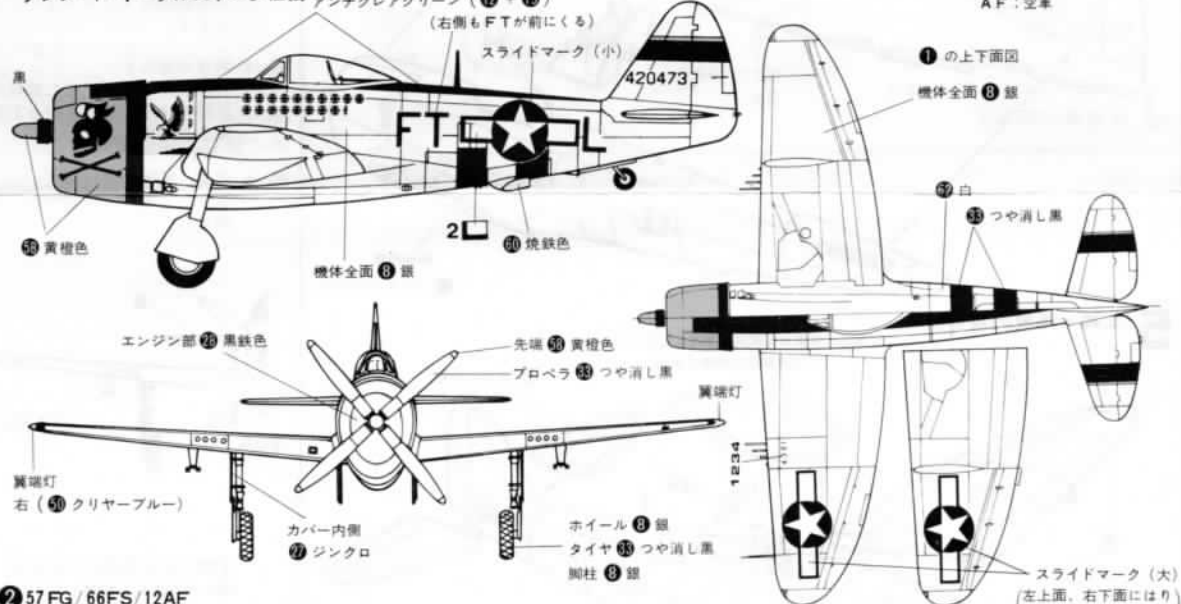
乗員 1名、プラット & ホイツニー R-2800-59 空冷式複列星型18気筒 2,300馬力、全幅 12.42m、全長 11.00m、主翼面積 27.87㎡、全備重量 6,577kg、最大速度 690km/時、上昇時間 6,100mまで9分、実用上昇限度 12,800m、航続距離 2,740km(最大)、12.7mm機関銃×8、爆弾 910kg(最大)。

Marking & Color Painting Guide

〈マーキング及び塗装参考図〉

① 353FG/354FS/19AF

グレン・T・イーグルストーン少佐機 アンチグレアグリーン (⑩ + ⑪)



FG : 戦闘中隊

FS : 戦闘大隊

AF : 空軍

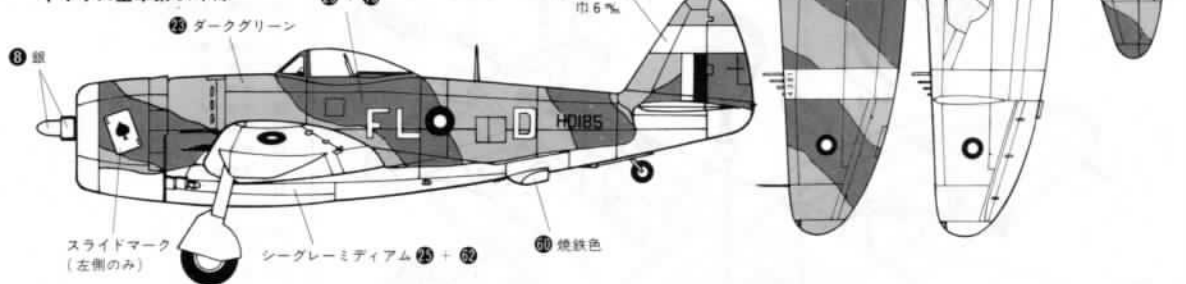
② 57FG/66FS/12AF

アメリカ陸軍航空隊



③ サUNDERボルト Mk. II

イギリス空軍第81中隊



サンダーボルトの塗装について

銀塗装の機体の場合には機首の赤、尾翼の白 (ストライプ)、機体上面のグリーンを先に塗っておき、その部分をマスキングしてから全体の銀塗装をおこないます。その他の機体は下面色を最初にぬってから上面色を塗装します。操縦席まわりはジンクロ、カーキグリーンを使って塗装します。エンジン部は全体を黒鉄色で塗装したあと銀でアクセントをつけるよいでしょう。排気管は焼鉄色です。

スライドマークのはり方

1. マークを台紙から切り抜き、まわりの透明な部分を切りとっておきます。
2. 水に20秒位浮かべてください。
3. マークを台紙からずらして所定の位置におき、台紙をずらして抜きとります。
4. マークの上からやわらかい布でおさえ、余分な水分と糊をおしだしてください。



モデルカラー

プラスチックモデルをより美しくするために各部品を塗装して下さい。①-⑤の番号はモデルカラーの番号です。筆は広い部分を塗る平筆と、小さな部分を塗る細筆を用意し、塗る部分によって使い分けましょう。

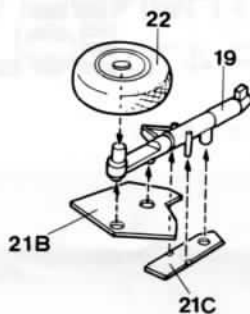
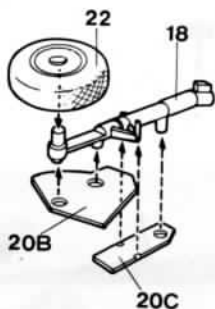
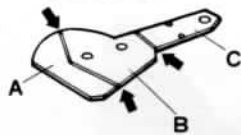


平筆で
面細筆

1 主車輪の組立て

★左右に注意して組立えます。

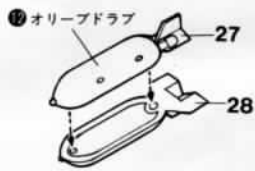
矢印の位置で切りはなします。



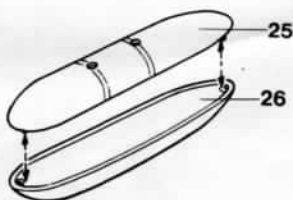
2 部品の組立て



① カーキグリーン



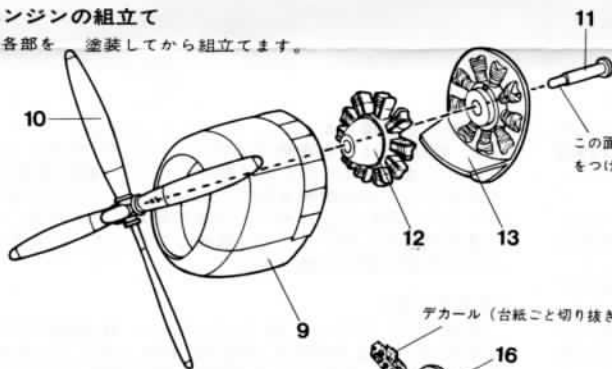
★2組立えます。



★2組立えます。

3 エンジンの組立て

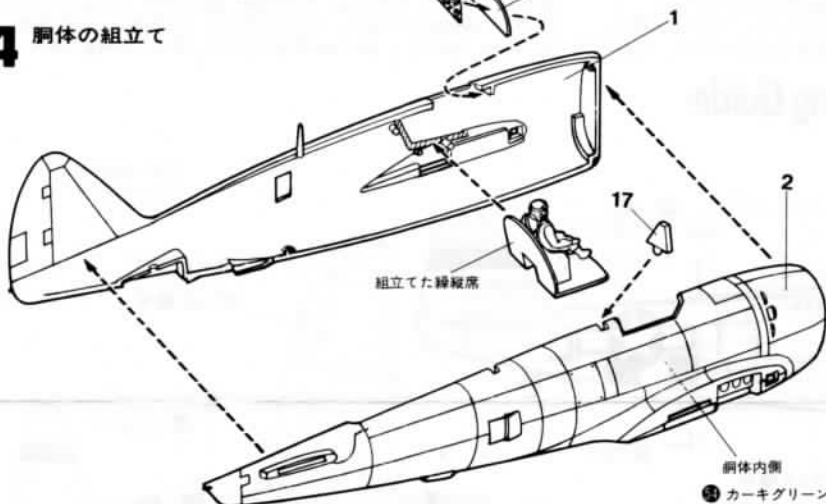
★各部を塗装してから組立えます。



この面にだけ接着剤をつけます。

デカール (台紙ごと切り抜きます)

4 胴体の組立て



組立てた縦座席

胴体内側

① カーキグリーン

★くみだくるまえに

■説明書をよく見て、指示に従って作ってください。

■部品をランナーから切りはなす時はニッパー又は、カッターを使ってください。

★モデルカラー

①-⑧の番号はモデルカラーの番号です。くみだたらかならず色をぬつてすはらしいモデルを作りましょう。

家庭用品品質表示法による接着剤品質表示
取扱い上、幼児の手の届かないところに保存し、の注意 いたづらをしない様注意して下さい。
2 火気に注意し換気をよくして下さい。
3 故意に吸わない様注意して下さい。
表示者 SZ 3000 SZ 3006 SZ 5013

図-1 主車輪の組立て

部品20・21は図のように矢印の位置でカッターなどで切りはなして使用します。

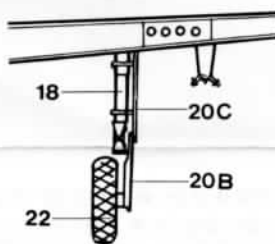


図-2 パイロット塗装参考図



- ① フレッシュ (肌色)
- ② つや消し緑 (ベルト)
- ③ レッドブラウン
- ④ レッドブラウン
- ⑤ カーキ
- ⑥ グラス (銀+緑)
- ⑦ レッドブラウン
- ⑧ レッドブラウン

図-3 エンジンの組立て

プロペラは可動ですので部品11に接着剤につけすぎないようにします。

図-4 胴体の組立て

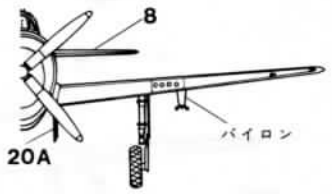
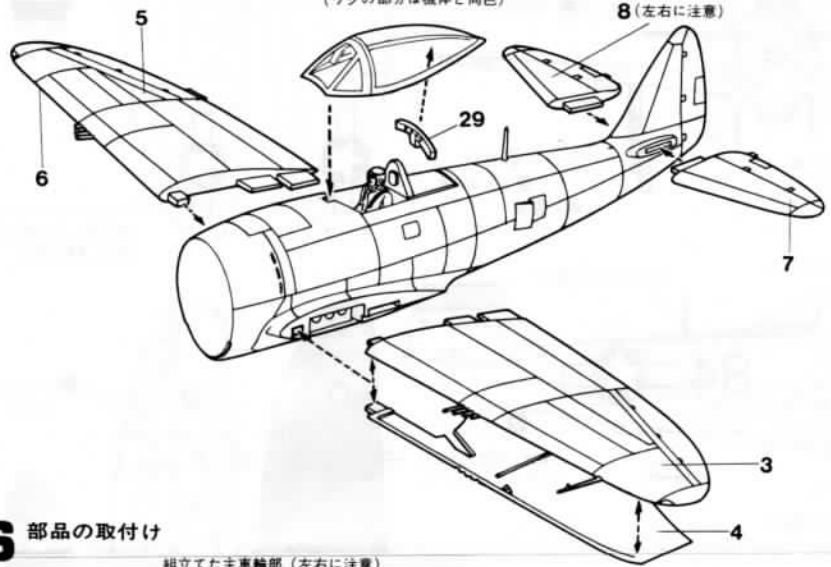
左側胴体1に組立てた縦座席、計器板16を接着してから右側胴体2を接着します。

図-5 主翼、尾翼の取付け

尾翼7・8には左右がありますので

5 主翼・尾翼の取付け

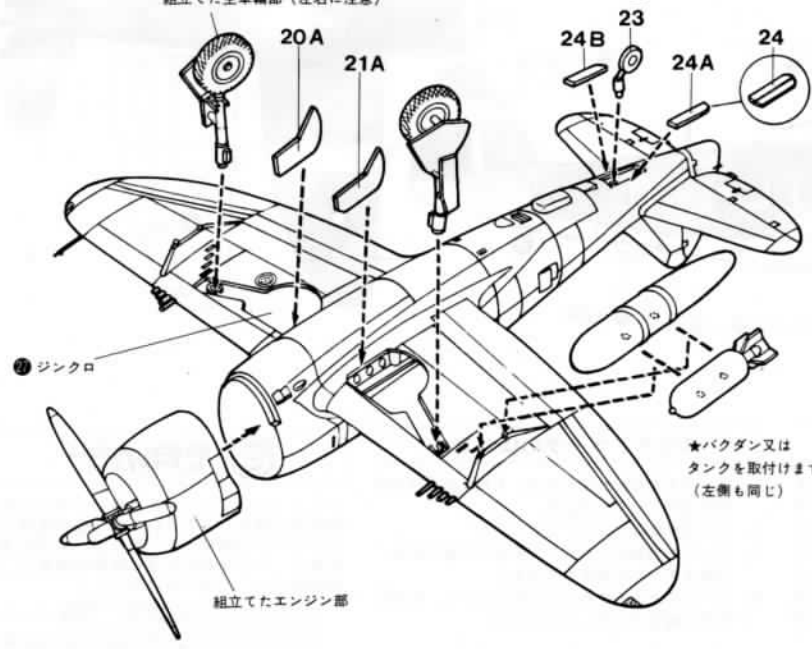
風防：位置は側面図を参考にしてください。
(ワクの部分は機体と同色)



主翼には上反角がつきます。上図をみて正しく接着してください。
翼下面のパイロンにはバックダン又は増加タンクを取付けます。
尾輪カバー24は中央で切りはなして使用します。

6 部品の取付け

組立てた主車輪部 (左右に注意)



★バックダン又はタンクを取付けます。(左側も同じ)

《部品番号および部品名称》

1. 胴体 (左)
2. 胴体 (右)
3. 主翼 (左上面)
4. 主翼 (左下面)
5. 主翼 (右上面)
6. 主翼 (右下面)
7. 尾翼 (左)
8. 尾翼 (右)
9. カウリング
10. プロペラ
11. プロペラシャフト
12. 前部エンジン
13. 後部エンジン
14. シート
15. パイロット
16. 計器板
17. ヘッドレスト
18. 主脚柱 (左)
19. 主脚柱 (右)
20. 車輪カバー (左)
21. 車輪カバー (右)
22. 主車輪
23. 尾輪
24. 尾輪カバー
25. 増加タンク
26. 増加タンク
27. バックダン
28. バックダン
29. 風防部品
(透明部品)
防弾ガラス
風防



FT L 84



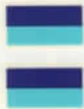
FT L 84

"Billie"

420473
420473



229321
229321



HDI85
HDI85

1 2 3 4
4 3 2 1



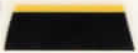
①



②



③



④



MADE

IN JAPAN